

1. T子さんの現在の生活機能（心身の状況及び生活状況）はどうなっているのでしょうか。

(1) 病気の影響や、飲んでいる薬の副作用について考えてみましょう。

ネガティブな部分	ポジティブな部分
<p>【アルツハイマー型認知症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ、何度も同じことを確認する、無くしたものを持っていないかと疑いをもつ。 ・暴言がある。 <p>(記憶障害は重度、しかし今まで実施していた行動はとれる状態である。)</p>	<p>【アルツハイマー型認知症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で日常生活をすごしている。 ・一般状態は、正常範囲内で安定している。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹などの不調による影響を考えてみましょう。

ネガティブな部分	ポジティブな部分
<ul style="list-style-type: none"> ・下痢がある。 ・たまに、尿失禁（尿漏れ）がある。 ・入れ歯 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠は、よく眠れている。 ・体の痛みの訴えはない。 ・箸で食事がとれている。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさなどの精神的苦痛や性格等の心理的背景による影響を考えてみましょう。

ネガティブな部分	ポジティブな部分
<ul style="list-style-type: none"> ・一人息子を数年前に亡くしてから気分の落ち込みがある。 ・息子の妻が掃除をすると「勝手に物を捨てた」と怒鳴ったり、「余計なことをするな」と怒る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に伝わる伝統料理が上手である。 ・もともと人との付き合いは良好であった。 ・日常的な会話はできる。

(4) 家族や援助者など、周囲の人の関わり方や態度による影響を考えてみましょう。

ネガティブな部分	ポジティブな部分
<ul style="list-style-type: none"> ・一人息子が数年前に亡くなった。 ・近隣の知人たちと交流はあるが、T子さんが何度も同じことを確認に行ったり、無くしたものを持っていないかと疑いをもつため徐々に関係は悪化している。 ・夕食のために火にかけていた鍋を少し焦がしてしまった。 ・隣町に住む亡くなった息子の妻が、生活の支援や制度手続きをしてくれるが、掃除をすると「勝手に物を捨てた」「余計なことはするな」と怒鳴ったり、怒ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家の隣にある田畑で農産物を作り、近所に分けたり、農産物の販売店におろしたりしていた。 ・地元に伝わる伝統料理が上手で、よく作り家族や近所にふるまって喜ばれていた。

(5) 住まい・器具・物品等の物的環境により生じる居心地の悪さや影響について考えてみましょう。	
ネガティブな部分	ポジティブな部分
・持ち家は、老朽化していて修繕が必要である。	・田や畑の作業ができる。
(6) 要望・障害程度・能力の発揮とアクティビティ（活動）とのズレについて考えてみましょう。	
ネガティブな部分	ポジティブな部分
<ul style="list-style-type: none"> ・食事の支度ができない。 ・買い物で、同じものを何度も購入。 ・腐ってしまった食品を食べてしまう。 ・通帳を失くしてしまう。 ・掃除洗濯は指示がないとできない。 ・決まった時間に決まった分量の服薬はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行は可能。 ・ご飯を炊くことはできる。 ・買い物も行くことはできる。 ・食事は一人で食べることができる。 ・短時間であれば会話ができる。 ・簡単な農作業（草刈など）はできる。
(7) 生活歴・習慣・なじみのある暮らし方と、現状とのズレについて考えてみましょう。	
ネガティブな部分	ポジティブな部分
・これまで行ってきた農作業、家事などは十分にできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた住居で、家族や近隣の見守りを受けながら暮らしている。 ・田や畑の農作業がT子さんの習慣である。 ・近隣と交流を続けている。 ・以前は、地域に伝わる伝統料理が上手であった。
2. T子さん及び家族の望む暮らしはどのようなものでしょう。	
T子さん（本人）が望む暮らし	家族が望む暮らし
・住み慣れた住居で、農作業をしながら暮らしたい。	（息子の妻）なんとか手助けはしたいが、暴言があり困っている。 どのように対応してよいかわからない。
3. ニーズ（課題）を導き出してみましょう。	
<p>①物忘れ、暴言があり、少しずつ一人で生活することに支障がでている。</p> <p>②本来、人の付き合いも良好であったが、物忘れ、暴言などから息子の妻や周囲の人との関係が疎遠となりがちである。</p> <p>③腐ったものを食べることも影響して下痢があり、今後、体調不良への影響が予測される。</p> <p>④息子の妻の介護疲れが予測される。</p>	

4. 3のニーズ毎に目標を設定してみましょう。

- ①行動障害が少しでも落ち着き、息子の妻、近隣の人と笑顔で交流ができる。
- ②以前の習慣や暮らし方につながる機会をつくる。
- ③下痢の解消など健康を維持し、BPSDを予防する。
- ④息子の妻とT子さんの接し方について検討し、介護負担の軽減を図る。

5. 本人及び家族のできること、多職種間の役割分担を考えてみましょう。

名前 (専門職名)	現在できること・現在のかかわり	今後できること・今後のかかわり (これから期待される専門職の役割)
T子さん (本人)	(セルフケアの概念) ・息子の妻や近隣の人と笑顔で会話する。 ・今できているADL機能を保持する。 ・健康状態の維持(新鮮な食品の維持)	・今できているADL機能を保持する。 ・健康状態の維持(食事をおいしく食べて眠れる。下痢を予防できる) ・ヘルパーの導入
息子の妻	・認知症について正しい知識をもち、T子さんの対応方法を理解する。 ・健康状態の維持	・健康状態を維持し、介護サービスを活用して、T子さんをサポートする。
介護支援専門員	・定期的な訪問、サービス計画の作成、評価、介護サービスの調整	・家事のサポート、食品管理のためヘルパーサービスの調整 ・暴言の原因を把握する。
かかりつけ医	・診察、治療(服薬処方) (下痢について)	・診察、治療の継続(物盗られ妄想、暴言などが強く続くようであれば認知症専門医へ紹介、服薬調整) ・今後の病状進行、予後について家族への説明
介護職 (ヘルパー)		・家事のサポート、服薬状況の確認 調理支援(冷蔵庫内の食品管理、買い物支援、掃除など)
OT		・料理(伝統料理)の支援 ・馴染みの関係を作りデイケアへ繋げる
PT		・転倒予防の指導、訓練 ・馴染みの関係を作りデイケアへ繋げる
薬剤師		・服薬方法の検討、助言
看護職 (受診時、行政)	・医療機関受診時の体調管理、下痢への対応、助言	・医療機関受診時の体調管理、便秘への対応、助言、服薬状況の確認 ・家族への健康管理

<p>歯科医師</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・入れ歯の調節 ・摂食嚥下状態の確認、機能が維持できるように定期的な受診、口腔状態の管理
<p>栄養士・管理 栄養士</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養状態の確認、下痢予防の食事療法の提示 ・配食サービスの利用提案
<p>弁護士</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用支援